

KDDI ホスティングサービス (G120, G200)

XOOPS インストールガイド

(ご参考資料)

rev1.1

KDDI 株式会社

KDDI ホスティングサービス G120, G200
活用ガイド

(目次)

1. XOOPS インストールガイド.....	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定	4
2. XOOPS のインストール.....	9
3-1 はじめに.....	9
3-2 データベースの作成.....	9
3-3 XOOPS のインストール	10

1. XOOPS インストールガイド

1-1 はじめに

KDDI ホスティングサービスの G120, G200 では、XOOPS のインストールが可能です。ここではその手動インストール方法をご説明いたします。

1-2 制限事項

- ・ 本サービスでは、XOOPS の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNS サーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。DNS 切替前のお客さまはセットアップできないことがありますが、その際は、クライアント PC の hosts ファイルを KDDI ホスティングサービスの IP アドレスに設定してください。(hosts ファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoft のサイトもしくは書籍等をご参考にしてください。ホスティングサービスの IP アドレスの確認方法は、「セットアップガイド」をご参考ください)

1-3 サイト初期設定

XOOPSをご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。ウェブサーバの起動については、コントロールパネルより「ウェブホスティングの追加」を行ないます。

- (1) コントロールパネルにログインし、「ドメイン名」>「ドメイン名の管理」を選択します。表示されているドメインリストの中で、XOOPSをインストールするドメインの「ウェブホスティング」を追加します。
※ 既にウェブホスティングを設定済みの場合は必要ありません。

- (2) (1)にて、「ドメイン名」をクリックして、ウェブホスティングの追加を行ないます。

- (3) ホスティングに「ウェブサイト(Microsoft IIS)」が表示されていることを確認し【次へ】をクリックします。

(4) ドキュメントルートの場所へのパスを指定し [次へ] をクリックします。

(ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。デフォルトではドメイン名のディレクトリが wwwroot の下に作成されます。通常はデフォルトのままで結構です。)

The screenshot shows the 'Web Hosting' configuration interface. The current step is 'Document Root' (ドキュメントルート). The 'Path' field contains 'example.com'. Below it, a note states: '(サブドメインのドキュメントルートとして指定したディレクトリ(パス)がなかった場合には、自動的にパスが作成されます。)' (If the specified directory (path) does not exist, it will be automatically created). At the bottom are buttons for '<< 戻る' (Back), '次へ >>' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

(5) ウェブサイトの詳細設定を行ないます。PHP や Perl、ASP のご利用有無と FTP のパスワードを設定してください。(※一度作成した後でも再度設定変更が可能です)

「PHP のサポート」の設定を「ISAPI extension として実行」にします。

The screenshot shows the 'New Web Space' configuration interface. The 'PHP Support' dropdown is set to 'ISAPI extension として実行'. In the 'FTP Settings' section, the 'FTP Support' checkbox is checked, and the password fields ('Password' and 'Confirm Password') are highlighted with a red box. At the bottom are buttons for '<< 戻る' (Back), '次へ >>' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

KDDI ホスティングサービス G120, G200

活用ガイド

(6) アクセス解析 AWStats を利用する場合は「AWstats をこのドメイン名にインストール」のチェックボックスにチェックを入れ、パスワードを設定します(利用されない場合はチェックを入れなくても構いません)。

[次へ] をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [\[ドメイン名\].com](#) Screen ID: 2.11.11.61
ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール

パスワード:

新しいパスワードを生成

<<戻る 次へ>> キャンセル リフレッシュ

(7) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [\[ドメイン名\].com](#) Screen ID: 2.11.11.57
ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

i 木スティング作成の概要:
ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティング再設定の準備が完了しました。入力した設定値に間違いが無いか確認してください。
また、完了ボタンをクリックすると現在のドメインに関する設定が初期化され入力項目が新たに設定されます。一部の変更の場合は、該当ドメインの[ウェブ管理]の[全般]画面で変更を行ってください。

ウェブスペース設定

ウェブサイト: www.[ドメイン名].jp
場所: [ドメイン名].com

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール: いいえ

<<戻る 完了 キャンセル リフレッシュ

(8) 全般の「同期」、DNS の設定の「DNS ホスティングステータス」の 2 項目が、[いいえ] から [はい]、[更新中] から [準備完了] のステータスにそれぞれ変わると、ご利用いただけます。

(ステータスは自動では変わりません。右上の[リフレッシュ] をクリックするとステータスが更新されます。)

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理
example.com
Screen ID: 2.11.11.5
リフレッシュ

概要 DNS管理 ウェブ管理 ウェブサイト管理者 ウェブアプリケーション

全般

ID: [REDACTED]
名前: example.com
同期: いいえ はい
ゾーン管理機能: 有効

DNSの設定

DNSホスティングステータス: 更新中 詳細の表示
DNS管理: 有効 準備完了

ウェブホスティング

ウェブホスティングタイプ: Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース)
URL: http://[REDACTED].com
場所: /wwwroot/[REDACTED].com
同期: いいえ はい

※ご注意

同期ステータスが「はい」(緑色) に変わるまで、約 1 分～10 分程度かかります。

(9) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

左メニューより、[ウェブサイト] > [ウェブサイトの設定]を選択し、タブより[デフォルトページ]をクリックします。

優先順位	ドキュメント
0	Default.htm
1	Default.asp
2	Default.aspx
3	index.php
4	index.htm
5	index.html
6	index.php5

(9) 「index.php」ファイルの優先順位を「index.html」よりも高くします。（「優先順位」の値が小さいほど、優先度は高く設定されています）[編集]ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。

Default Page:	Priority
Default.htm	Default.htm
Default.asp	Default.asp
Default.aspx	Default.aspx
index.php	index.php
index.htm	index.htm
index.html	index.html

2. XOOPS のインストール

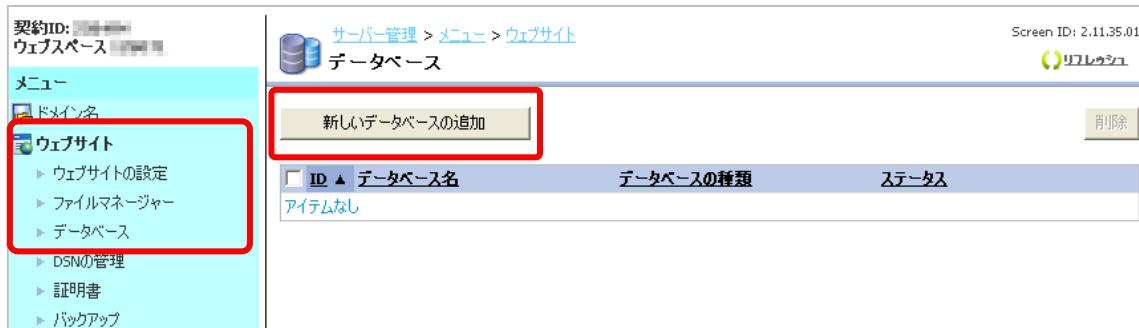
3-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定「1-3 サイトの初期設定」が実施されていることを前提に以下手順を記します。

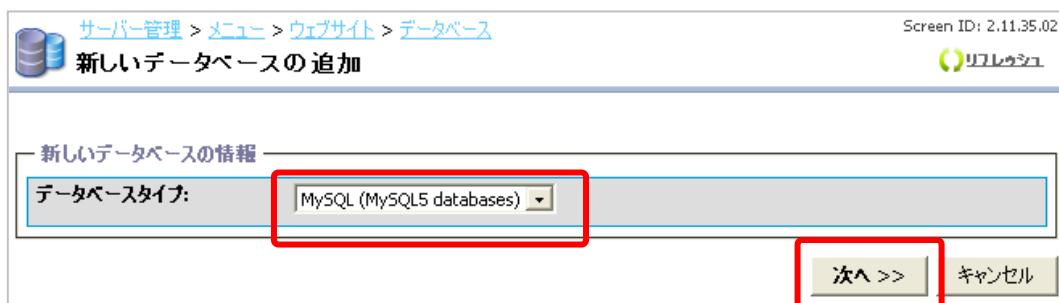
3-2 データベースの作成

XOOPS で利用するデータベースを作成しておきます。

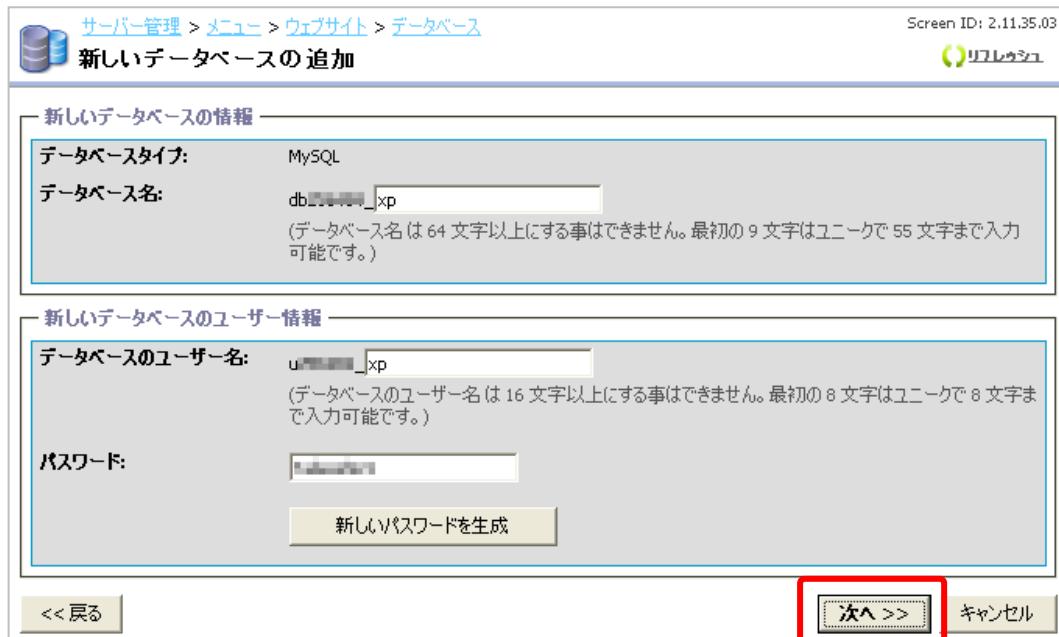
- (1) メニューより、[ウェブサイト] > [データベース]を選択し、[新しいデータベースの追加]をクリックします。



- (2) データベースタイプに「MySQL (MySQL5 databases)」を選択して、[次へ]をクリックします。



- (3) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し、[次へ]をクリックします。



(4) 設定情報を確認し、よろしければ[確認]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース

新しいデータベースの追加

概要:
新しいデータベースの作成準備ができました。下記のデータが正しいことを確認してください

新しいデータベースの情報

データベースタイプ:	MySQL
データベース名:	db_XXXX_xp
ディスク容量リソース:	Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名:	uXXXX_xp
パスワード:	*****

<<戻る 完了 キャンセル

(5) ステータスが「作成中」から「準備完了」になればデータベースの作成が完了です。

(画面の更新は自動ではありません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

ID	データベース名	データベースの種類	ステータス
17175	db_XXXX_xp	MySQL	準備完了

3-3 XOOPS のインストール

※本マニュアルは、<http://www.お客様ドメイン名/xp/> の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

(1) インストール先ディレクトリを作成します。

コントロールパネルのメニューより、[ウェブサイト]>[ファイルマネージャを開く]をクリックして、ファイルマネージャを表示させます。(ファイルマネージャの初期設定が完了していない場合は、設定します。)

契約ID: XXXXX
ウェブスペース

メニュー

- ドメイン名
- ウェブサイト**
 - ウェブサイトの設定
 - ファイルマネージャー
 - データベース
 - DSNの管理
 - 証明書
 - バックアップ
- メール
- ユーザー
- 統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト

ファイルマネージャー

ファイルとフォルダの管理: ファイルマネージャーを開く ▶

ステータス: 準備完了

KDDI ホスティングサービス G120, G200

活用ガイド

(2) 「wwwroot」をクリックし、xoops をインストールするドメインのディレクトリを選択(無い場合は「ディレクトリを作成」)します。

The screenshot shows the 'File Manager' interface under 'Web Site' management. The left sidebar has a 'Domain Name' icon. The main area shows a list of files and folders in the '/wwwroot' directory. A red box highlights the 'Create Directory' button ('ディレクトリを作成') and the 'OK' button ('OK') in a modal dialog box.

「ディレクトリを作成」する場合、下記のように名称を入力できます。本マニュアルでは、「example.com」をサンプルに説明いたします。



(3) インストール先ディレクトリのアクセス権の変更を行います。

上記で作成した [example.com] のディレクトリに対し [Anonymous Web ユーザー] の書き込み権限を付与します。作成したディレクトリ右側の錠マーク をクリックします

The screenshot shows the file list in the '/wwwroot' directory. The 'example.com' folder has a red circle around its right-side padlock icon, indicating it is being selected for permission changes.

(4) [Anonymous Web ユーザー]の書き込み権限にて、[許可]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the 'Access Rights Settings' dialog for the '/example.com' folder. It lists three user types: 'Application Pool Identity' (checked), 'Anonymous Web User' (unchecked), and 'Authenticated FTP User' (checked). The 'Write' column for 'Anonymous Web User' has a red box around the 'Allow' checkbox, which is checked. The 'OK' button at the bottom right is also highlighted with a red box.

(5) インストール用ファイルの編集を行ないます。

コントロールパネルにて、[ウェブサイト] [ファイルマネージャー] より、[ファイルマネージャーを開く]をクリックし、wwwroot > ext の順番でフォルダを選択いたしますと、[**-extract.php]という形式のファイルをご確認いただけます。xoops をインストールするには、[XP-extract.php]のファイルをご選択ください。

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
EC-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
JM-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
MT5-extract.php	2 KB	2010/10/27 13:28:06	
PW-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
WP-extract.php	2 KB	2010/11/22 16:09:26	
XP-extract.php	2 KB	2010/11/25 11:49:18	

ファイルマネージャにて[XP-extract.php]のファイルが無い場合は[こちら](#)

(<http://media3.kddi.com/extlib/files/pub/hosting-g/application/zip/XP-extract.zip>)よりダウンロードできます。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。

(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ & ドロップすると開くことができます)

5 行名の解凍先ディレクトリをお客さま環境に合わせて修正します(赤文字・太字部分)。

お客さま環境の確認方法は、(6)にて確認できます。

```
//////CONFIG/////
define('ARCHIVE_URL',
'http://apps.kddihs.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.ziphttp://apps.kddihs.jp/XOOPS/X
OOPS.zip');
define('PATH_TO_EXTRACT',
'D:¥CustomerData¥webspaces¥webspace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
//////CONFIG/////
```

(6) 解凍先ディレクトリ(サーバーパス)は以下の流れで確認します。

[ウェブサイト]より、[ウェブサイトの設定]にて [PHP のサポート]を選択し、[PHP のサポート:]をクリックし、_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]をご確認いただきます。

**_SERVER
["APPL_PHYSICAL_PATH"]**

D:\CustomerData\webspaces\webspace_00101241\wwwroot\

このパス情報を(8)にて設定いたします。(パス情報はお客様によって上記とは異なります)

(7) 解凍先ディレクトリの編集を行います。

以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:\CustomerData\webspaces\webspace_***\wwwroot\example.com\xp**

にインストールする場合は、

D:\CustomerData\webspaces\webspace_***\wwwroot\example.com** と

入力します

```

1 <?php
2 
3 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/wordpress/wordpress.zip');
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:\CustomerData\webspaces\webspace_*****\wwwroot\解凍先ディレクトリ');
6 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
7 
8 $pattern = '|.+/(.+)$|';
9 preg_match($pattern, ARCHIVE_URL, $matches);
10 define('FILE_NAME', $matches[1]);
11 
```

↓

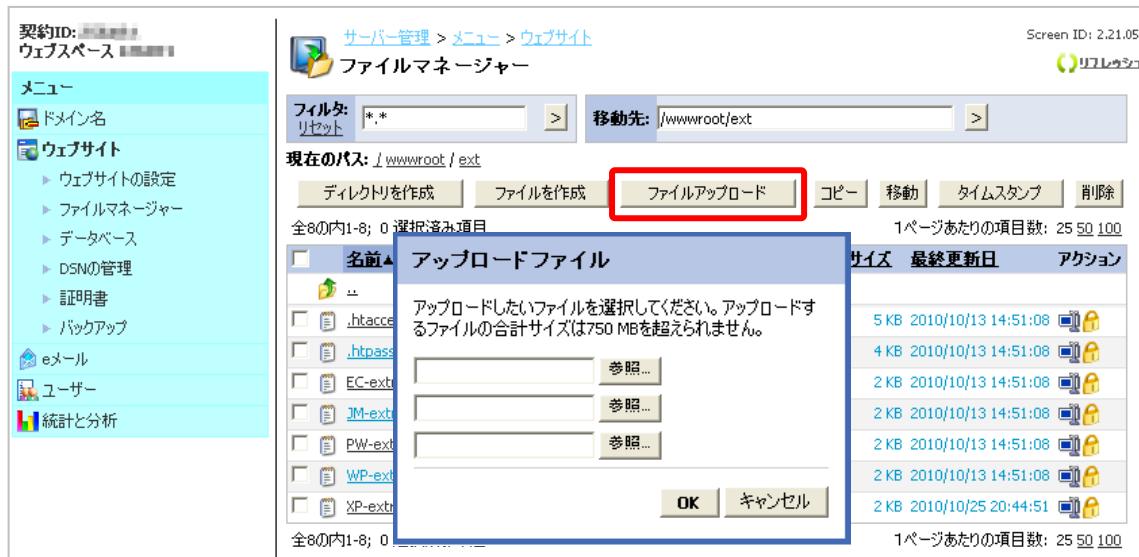
記述例)

D:\CustomerData\webspaces\webspace_00101241\wwwroot\example.com

編集したファイルを上書き保存します。(ファイル名 : XP-extract.php)

(8) 編集したファイルを「ファイルマネージャ」でアップロードします。

アップロードするファイル	XP-extract.php
アップロード先のディレクトリ	¥wwwroot¥ext



(9) アップロード完了後、[XP-extract.php]を実行します。メニューより[ウェブサイト] > [ウェブサイトの設定]を選択し、[名前]のリンクをクリックします。新しいブラウザが表示された後、

http://d*****.kddihs.jp/ext/XP-extract.php

とアドレスを修正して、アクセスします。

インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。

「Start」から「Done」まで大量の結果が出力されます。(数千行)

```

Start
get http://app.kddi.com.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\webspace_0000001\wwwroot\http://app.kddi.com\XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\webspace_0000001\wwwroot\http://app.kddi.com\Package_Legacy\docs\CHANGES.txt
D:\CustomerData\webspaces\webspace_0000001\wwwroot\http://app.kddi.com\Package_Legacy\docs\CHANGES.txt

...
D:\CustomerData\webspaces\webspace_0000001\wwwroot\http://app.kddi.com\Package_Legacy\html\viewpmg.php
D:\CustomerData\webspaces\webspace_0000001\wwwroot\http://app.kddi.com\Package_Legacy\html\xoops.css
Done...

```

※ご参考

「Start」から「Done」まで 4 行程度(数行)しか出力されていない場合は、正しく動作しておりません。

インストールしようとしているディレクトリ(ここでは example.com)に「Anonymous Web ユーザー」の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか? (2-4 (4))をご確認ください。

アクセス権の設定: /wwwroot/example.com		Login	User type	読み取り	書き込み	実行	許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
	<blank>	column.login.blank	アプリケーションプール アイデンティティアカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<blank>	column.login.blank	Anonymous Webユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<blank>	WIN-SV\w00126071	認証されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- (11) 展開されたディレクトリの名前を変更します。メニューの[ウェブサイト]>[ファイルマネージャー]を選択し、wwwroot > example.com の順番でフォルダを選択いたしますと、[Package_Legacy]というディレクトリが表示されます。[Package_Legacy]右側の[ディレクトリ名の変更]ボタンを選択しディレクトリ名を変更します。本マニュアルでは、http://www.example.com/xp/としてインストールするため、xpと入力します。

The screenshot shows the KDDI Hosting Service File Manager interface. The current path is /wwwroot/example.com. A modal dialog box titled "名前の変更" (Name Change) is open, prompting for a new name: "xp". The dialog also includes a note stating "名前の文字数は 133 文字を超えられません" (The number of characters does not exceed 133). Below the dialog, the file list shows the "Package_Legacy" directory has been renamed to "xp". The "Actions" column for the "Package_Legacy" entry shows a circled "Edit" icon.

(12) XOOPS ヘアクセスいたします。

ブラウザで「[http://www.example.com\(お客様のドメイン名\)/xp/html](http://www.example.com(お客様のドメイン名)/xp/html)」へアクセスし、インストール ウィザードに従ってインストールします。下記画面で、「次へ」をクリックします。



(13) 「次へ」をクリックします。

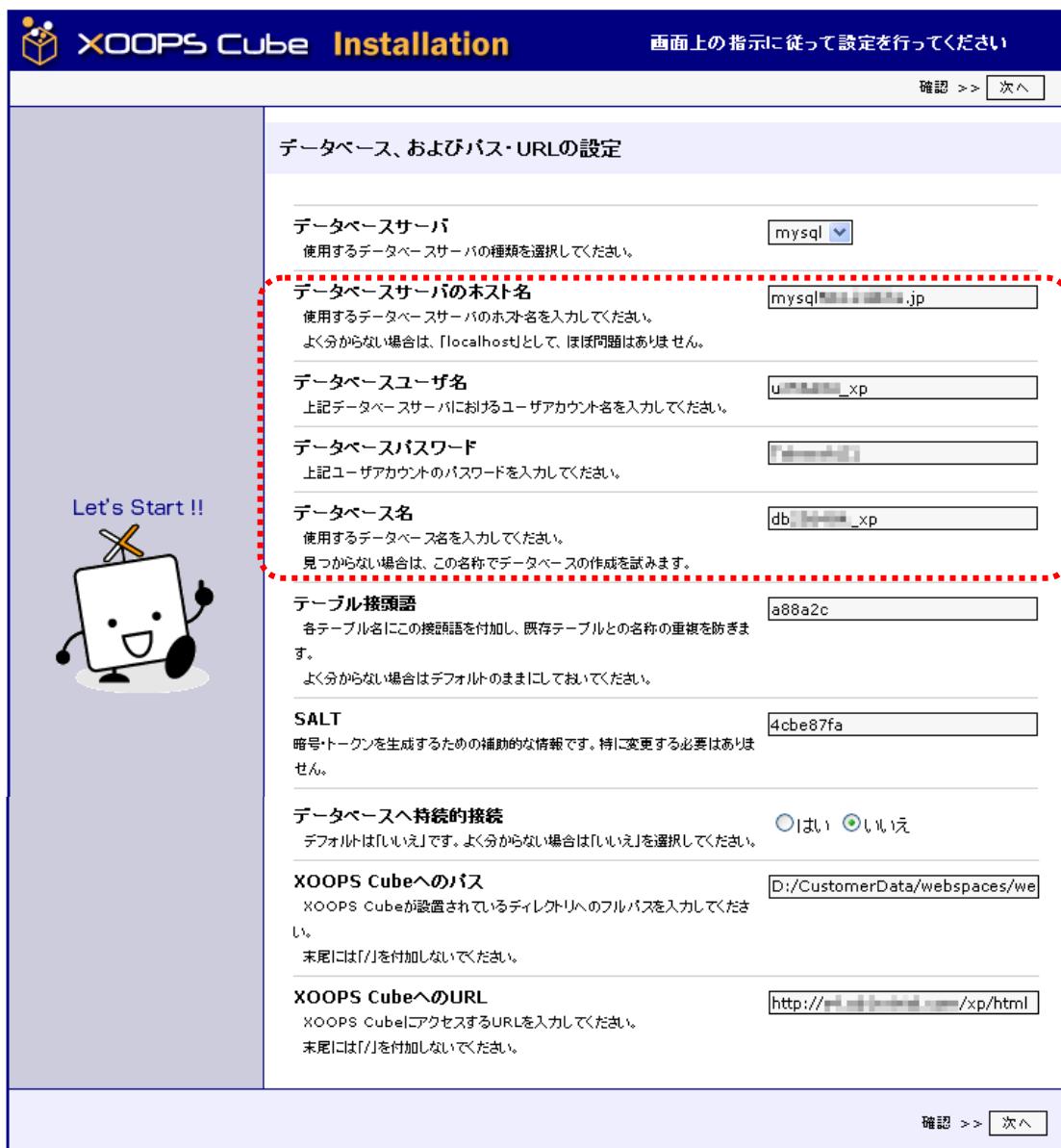


**KDDI ホスティングサービス G120, G200
活用ガイド**

(14) 「次へ」をクリックします。



(15) データベースの設定を行ないます。データベース情報は、3-2 で作成したデータベースの情報を記載します。(コントロールパネルよりご確認できます。)



XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

確認 >> 次へ

データベース、およびパス・URLの設定

データベースサーバ mysql

データベースサーバのホスト名 mysql[REDACTED].jp

データベースユーザ名 u[REDACTED]_xp

データベースパスワード [REDACTED]

データベース名 db[REDACTED]_xp

テーブル接頭語 a88a2c

SALT 4cbe87fa

データベースへ持続的接続 ○いいえ (選択済)

XOOPS Cubeへのパス D:/CustomerData/webspaces/we

XOOPS CubeへのURL http://[REDACTED].xp/html

Let's Start !!

確認 >> 次へ

XOOPS 上の設定項目	コントロールパネル該当箇所
データベースサーバのホスト名	[全般]タブ内の「内部ネットワーク用ホスト名」
データベースユーザ名	[ユーザー]タブ内の「ユーザー名」
データベースパスワード	[ユーザー]タブ内の「パスワード」 (編集ボタンをクリックすることで確認可能)
データベース名	[全般]タブ内の「データベース名」

KDDI ホスティングサービス G120, G200 活用ガイド

(16) 設定情報を確認し、よろしければ「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

戻る << 設定の再入力 設定の保存 >> 次へ

Let's Start !!

設定内容の確認

データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	mysql[REDACTED].jp
データベースユーザ名	u[REDACTED]_xp
データベースパスワード	[REDACTED]
データベース名	db[REDACTED]_xp
テーブル接頭語	a88a2c
SALT	4cbe87fa
データベースへ持続的接続	いいえ
XOOPS Cubeへのパス	D:/CustomerData/webspaces/[REDACTED]/wwwroot/[REDACTED].com/xp/html
XOOPS CubeへのURL	http://[REDACTED].com/xp/html

戻る << 設定の再入力 設定の保存 >> 次へ

(16) 「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >> 次へ

Let's Start !!

設定の保存

- ファイル./mainfile.phpがファイル./mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数xoops_root_pathがD:/CustomerData/webspaces/[REDACTED]/wwwroot/[REDACTED].com/xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_urlがhttp://[REDACTED].com/xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_db_typeがmysqlに設定されました。
- 定数xoops_db_prefixがa88a2dに設定されました。
- 定数xoops_saltが4cbe87faに設定されました。
- 定数xoops_db_hostがmysql[REDACTED].jpに設定されました。
- 定数xoops_db_userがu[REDACTED]_xpに設定されました。
- 定数xoops_db_passが[REDACTED]に設定されました。
- 定数xoops_db_nameがdb[REDACTED]_xpに設定されました。
- 定数xoops_db_pconnectが0に設定されました。
- 定数xoops_group_adminが1に設定されました。
- 定数xoops_group_usersが2に設定されました。
- 定数xoops_group_anonymousが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >> 次へ

(17) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス URLのチェック >> 次へ

Let's Start !!



設定の保存

- ファイル.../mainfile.phpがファイル.../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数xoops_root_pathがD:/CustomerData/webspaces/.../xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_urlがhttp://.../.../.../xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_db_typeがmysqlに設定されました。
- 定数xoops_db_prefixがa88a2dに設定されました。
- 定数xoops_saltが4cbe87faに設定されました。
- 定数xoops_db_hostがmysql.../.../.../xpに設定されました。
- 定数xoops_db_userがu..._xpに設定されました。
- 定数xoops_db_passが...に設定されました。
- 定数xoops_db_nameがdb..._xpに設定されました。
- 定数xoops_db_pconnectが0に設定されました。
- 定数xoops_group_adminが1に設定されました。
- 定数xoops_group_usersが2に設定されました。
- 定数xoops_group_anonymousが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス URLのチェック >> 次へ

(18) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation
画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >>
次へ

Let's Start !!



設定の保存

- ファイル.../mainfile.phpがファイル.../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数xoops_root_pathがD:/CustomerData/webspaces/.../xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_urlがhttp://.../xp/htmlに設定されました。
- 定数xoops_db_typeがmysqlに設定されました。
- 定数xoops_db_prefixがa88a2dに設定されました。
- 定数xoops_saltが4cbe87faに設定されました。
- 定数xoops_db_hostがmysql..._xpに設定されました。
- 定数xoops_db_userがu..._xpに設定されました。
- 定数xoops_db_passが...に設定されました。
- 定数xoops_db_nameがdb..._xpに設定されました。
- 定数xoops_db_pconnectが0に設定されました。
- 定数xoops_group_adminが1に設定されました。
- 定数xoops_group_usersが2に設定されました。
- 定数xoops_group_anonymousが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>
次へ

(19) 設定情報が保存されます。「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >> 次へ

Let's Start !!

設定の保存

- ファイル./mainfile.phpがファイル./mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/XXXXXX_XP/install/htdocsに設定されました。
- 定数XOOPS_URLがhttp://XXXXXX.XXX.com/xp/htmlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2dに設定されました。
- 定数XOOPS_SALTが4cbe87fa1に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql.XXX.XXX.XXXに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_USERがuser_xpに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PASSがXXXXXXXXXXに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_NAMEがdb_xpに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >> 次へ

(20) データベーステーブルが作成されます。「次へ」をクリックします。

XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

サイト管理者についての設定 >> 次へ

Let's Start !!

データベーステーブル作成

- a88a2c_avatarテーブルを作成しました。
- a88a2c_avatar_user_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerclientテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerfinishテーブルを作成しました。
- a88a2c_block_module_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopscommentsテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopsnotificationsテーブルを作成しました。
- a88a2c_configテーブルを作成しました。
- a88a2c_configcategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_configoptionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groupsテーブルを作成しました。
- a88a2c_group_permissionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groups_users_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imageテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagebodyテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagetcategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgset_tplset_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetimgテーブルを作成しました。
- a88a2c_modulesテーブルを作成しました。
- a88a2c_newblocksテーブルを作成しました。
- a88a2c_onlineテーブルを作成しました。
- a88a2c_priv_msgsテーブルを作成しました。
- a88a2c_ranksテーブルを作成しました。
- a88a2c_sessionテーブルを作成しました。
- a88a2c_smilesテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplfileテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsourceテーブルを作成しました。
- a88a2c_usersテーブルを作成しました。

データベーステーブルが作成されました。

サイト管理者についての設定 >> 次へ

(20) XOOPS の際と管理者情報をお客様の任意で設定し、「次へ」をクリックします。



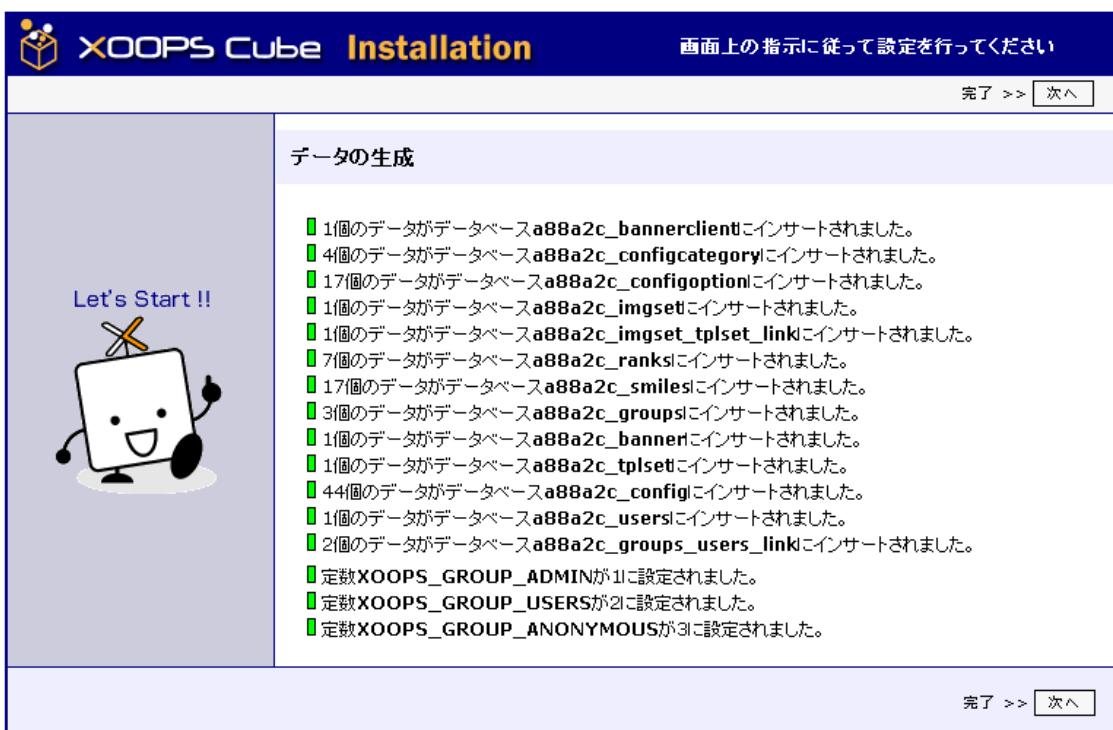
XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

データの生成 >> 次へ

 Let's Start !!	サイト管理者についての設定 サイト管理者のユーザ名、ユーザーパスワード、およびメールアドレスを入力してください。 管理者ユーザ名 <input type="text" value="*****"/> 管理者メールアドレス <input type="text" value="*****@*****.*****"/> 管理者パスワード <input type="password" value="*****"/> 管理者パスワード(再入力) <input type="password" value="*****"/>
データの生成 >> <input type="button" value="次へ"/>	

(21) データの生成が行なわれます。「次へ」をクリックします。



XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

完了 >> 次へ

 Let's Start !!	データの生成 <ul style="list-style-type: none"> ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_bannerclient にインサートされました。 ■ 4個のデータがデータベース a88a2c_configcategory にインサートされました。 ■ 17個のデータがデータベース a88a2c_configoption にインサートされました。 ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_imgset にインサートされました。 ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_imgset_tplset_link にインサートされました。 ■ 7個のデータがデータベース a88a2c_ranks にインサートされました。 ■ 17個のデータがデータベース a88a2c_smiles にインサートされました。 ■ 3個のデータがデータベース a88a2c_groups にインサートされました。 ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_banner にインサートされました。 ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_tplset にインサートされました。 ■ 44個のデータがデータベース a88a2c_config にインサートされました。 ■ 1個のデータがデータベース a88a2c_users にインサートされました。 ■ 2個のデータがデータベース a88a2c_groups_users_link にインサートされました。 ■ 定数 XOOPS_GROUP_ADMIN が 1 に設定されました。 ■ 定数 XOOPS_GROUP_USERS が 2 に設定されました。 ■ 定数 XOOPS_GROUP_ANONYMOUS が 3 に設定されました。
完了 >> <input type="button" value="次へ"/>	

KDDI ホスティングサービス G120, G200 活用ガイド

(22) インストールの第 1 ステップが終了し、インストールの第 2 ステップについて表示されます。確認し、「次へ」をクリックします。



(23) 管理画面にログインできます。サイト管理者を設定したユーザ名、パスワードにてログインした後、お客様の環境に合うよう設定できます。



※ご注意

XOOPS の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。